

学校新聞

つなぐ

神奈川県立相模原養護学校

〒252-0336 神奈川県相模原市南区当麻814

Tel 042-778-0331 FAX 042-778-4957

web <http://www.sagamihara-sh.pen-kanagawa.ed.jp>

『卒業式をむかえ～感謝～』

校長 三橋 幸彦



今年、例年になく厳しい寒さが続き、本校も水道管の凍結や大雪の影響を受け、改めて、実際に即した災害への対応の必要を実感しました。そして3月に入りようやく春の気配を感じられるようになり、PTAと高等部生徒が協力して育てているPTA「さがようガーデン」でも、パンジーなどの花がきれいに咲いてきました。そして、3月9日には、高等部、16日には小中学部の卒業式が行われ、小学部3名、中学部6名、高等部45名の児童・生徒が通い慣れた、思いでいっぱいな学校を巣立っていきます。全員が、4月からの新たな生活また学習の場で、生き生きと豊かな人生を歩んでくれることを願っています。支えてくださいました保護者の皆様をはじめ、地域、関係機関の皆様には心から感謝申し上げます。



『「つなぐ」、ということ』

副校長 宇田 雅則

学校と社会をつなぐ、友達と手をつなぐ、心をつなぐ、望みをつなぐ、命をつなぐ…「つなぐ」、は本当に馴染み深い言葉です。卒業式を迎えるにあたって思い浮かべるのは、「先輩」と「後輩」です。相模原養護学校は、先輩と後輩の関係を40年以上にわたって「つなぎ」続けてきました。学校に時々元気な姿を見せてくれる卒業生の方々は、とても明るく、そしてまた頼もしく見えます。先輩が後輩のために行なってきてくれたことに感謝し、自分達が先輩と呼ばれるようになった時には次の後輩のために動きはじめる。卒業式は、卒業生が在校生に襷をつなぐ式でもあります。別れはつらいものですが、先輩方の思いを受け止め、次の世代へつなぐ、そんな決意を抱きながら、卒業生のみなさんの門出をお祝いできたらすばらしいと思います。卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。これからも相模原養護学校とのつながりを大切にしてください。

『さん付け呼称の定着について』

教頭 山崎 明久

4月当初の個別面談でお子さんの学校での呼称を担任・保護者と確認をしていただきました。

相模原養護学校では、児童・生徒に対し、そして児童・生徒同士が「さん付け呼称」を行うことにより、児童・生徒の人権を尊重した「適切で丁寧な関わりの実践」を学校目標に据えて取り組んでいます。

先日実施しました学校評価に係る保護者アンケートにおいては、さん付け呼称の実践を通して児童・生徒への丁寧な関わりにつながっているかとの問いに対して約9割の「Yes」の評価をいただきました。

教職員のアンケートからは、教員がきちんとさん付け呼称を行っていることと自然と子どもたち同士がさん付け呼称になっていたとのうれしい報告もありました。次年度も引き続き重点的な取り組みとして学校目標に位置づけ、お子さんの人権を尊重した丁寧な関わりをさらに推進していきます。

★修学旅行思い出ランキング★

1 位 USJ

2 位 道頓堀

3 位 大阪城